

5 / 25 (土) の行事

報道発表資料の配付日時 5月15日(水) 15時00分

発表項目 (行事名)	「道民ひとり1本植樹・育樹運動」推進事業による植樹と環境教育について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>「別海町くるみ幼稚園」で、園庭に園児と保護者が植樹を行い、併せて木育マイスターによる環境教育を実施します。</p> <p>「道民ひとり1本植樹・育樹運動」推進事業による、植樹活動は管内で初めての取組となります。</p> <p>1 日時 令和6年5月25日(土) 10:00～12:00</p> <p>2 場所 別海くるみ幼稚園</p> <p>3 対象 年長園児(19名)とその保護者</p> <p>4 植栽樹種 ミズナラ・サクラ・ハスカップ・クロスグリなど</p> <p>5 木育マイスター 石川聖江氏</p>		
参考	<p>○「道民ひとり1本植樹・育樹運動」推進事業とは 道では、「道民ひとり1本植樹・育樹運動」(資料1)を展開し、道内で500万本の植樹・育樹本数を目指すにあたり、教育・保育機関による継続的な「森林づくり」活動の契機となるよう、植樹・育樹(体験)と環境教育(知識習得)との一体的な実施を道が支援する取組です。</p> <p>○「木育」とは、平成16年に提案された北海道発祥の概念で、子どもをはじめとするすべての人が、「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取組で、子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むことです。(資料2)</p> <p>○「木育マイスター」とは、北海道が認定する、木育を普及させる達人で、それぞれが持つ、得意分野を生かしながら、様々な木育活動を行っています。(資料2)</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	木育の取組や、「道民ひとり1本植樹・育樹運動」について広く知っていただくため、積極的な報道をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担当 (連絡先)	産業振興部 林務課(室) (担当者: 石川) TEL ダイヤルイン 0153-23-6962 (ダイヤルイン)		

「道民ひとり1本植樹・育樹運動」

平成30年に定めた「北海道植樹の日・育樹の日」を中心として、道民の皆様が森林づくりに積極的に取り組むことは、木育の推進やゼロカーボン北海道の実現につながることから、植樹・育樹運動を道民運動として定着させていくため、**道民の皆様とともに全道で500万本の植樹・育樹を目指す「道民ひとり1本植樹・育樹運動」**を展開しています。



芽森(めもりー)
北海道の森林づくりの
シンボルキャラクター

キックオフイベントの開催

令和5年(2023年)10月22日(日)に、サッポロさとらんど(札幌市)においてキックオフイベントを開催し、北海道知事が運動の開始を宣言しました。



▲ 芽森と一緒に知事が運動の開始を宣言



▲ アオダモの記念植樹

キャッチフレーズの決定

「さあ、北海道の未来を植えよう。」

令和5年(2023年)11・12月に一般公募によりキャッチフレーズを募集し、道内外の幅広い世代から寄せられた総数944点の応募の中から運動のキャッチフレーズを「さあ、北海道の未来を植えよう。」に決定しました。

「木育」って、こんな意味



「木育」は、北海道で生まれた言葉

平成 16 年度に、官民協働のプロジェクトチーム
「木育推進プロジェクト」で検討されました。

**子どもをはじめとするすべての人が
「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取組。
子どもの頃から木を身近に使っていくことを
通して、人と、木や森とのかかわりを主体的に
考えられる豊かな心を育むこと。**

木育は「つながり」のキーワード

森林と木材

森の中に生きる木と生活の中にある木材は、もともと一つの木です。お互いに切り離すことのできない関係でつながっています。

木育でつながる人の輪

森で一緒に過ごした人が新しい仲間になったり、子どもの森遊びについていった親同士が意気投合したり。木育は人と人のつながりが生まれるきっかけにもなります。



「木育」のとくみ

「木育」の取組は、特別な・新しいことではありません。
あなたの身近な生活の中に、“森”と“木”を感じる
時間やモノを取り入れることから始めることができます。

近くの森に行ってみる

お休みの日に、おうちの近くの森
や林に少し寄ってみませんか。

おいしい空気の中で、さまざまな
木々や葉の色・風・かおり・動物の動
きを感じることができます。

家に帰るころには、気分もリフレッシュされていることでしょう。



苫東・和みの森 (苫小牧)

普段の生活に、木のモノを使ってみる



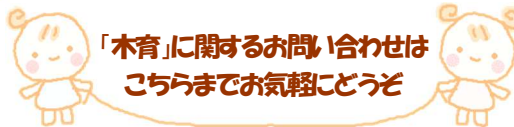
森に行くことができなくても、普
段づかいのモノ・子どもたちが使う
モノなどに、木を取り入れることで、
心豊かな時間を過ごすことができま
す。



北の木の家 (旭川市)

その木がどこから来たのか、外国
なのか北海道なのか、思いを馳せて
みると、より愛着が湧くことでしょ
う。

「木育」を広める取組にも、ぜひご協力ください



北海道水産林務部森林環境局森林活用課

電話〔直通〕 011-204-5515

〔代表〕 011-231-4111 (内線28-816)

suirin.katsuyo2@pref.hokkaido.lg.jp



もくいく

「木育」



「木育」って、なんだろう？

北海道

「木育 (もくいく)」のホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/sky/mokuiku/index.htm>



“森”や“木”と、“人”をめぐる今

今こそ大事にしたい“森”と“木”と関わる生活

- 森林や木材は、私たちのとても身近なところにあります。日本は「木の文化」の国と言われ、古くから多くの建築物や生活用品が木で作られてきました。また、北海道は、面積の約7割を森林が占めています。
- 最近、体と心が癒され、しっくりとなじみ落ち着く“空間”や“モノ”として、“森”や“木”の価値が捉えられています。
- 人は、資源としてだけではなく、こうした体と心に関しても“森”や“木”からさまざまな恩恵を受けて暮らしていると言えます。
- こうした“森”と“木”と関わる生活は、ひいては豊かな感性や人間関係を育み、人と自然とが共存できる社会づくりにつながるのでは…そんな想いの中から生まれたのが「木育」です。

北海道認定「木育マスター」制度



令和2年9月 木育マスター育成研修修



木育マスター育成研修テキスト

「木育マスター」とは、北海道が認定する、木育を全道に普及する木育の達人です。森林・自然ガイド、大工、林業や木材会社、保育士など、それぞれが持つ得意分野を生かしながら、様々な木育活動をしています。北海道では、平成22年度から木育マスター育成研修を開始。そのすべてのカリキュラムを修了した受講生を「木育マスター」として認定しています。

(令和3年末現在 299名)。

北海道で「木育」の輪が着実に広がっています

木育活動のひろがり

平成17年度から始まった「木育」の取組は、道内各地に広がっています。



木育フェア in アリオ札幌



市民植樹祭(北斗)...



木育プロジェクト(北広島)...



森林体験バスツアー
(北見、美幌)...



児童館の木育教室(旭川)...



小学校の木育教室(浜頓別)...



子ども木づかい教室(浦河)...



森で遊ぼう!(芦別)...

木育活動を紹介した事例集8



「いつもそばに。～木と共に生きる～木育事例集8」

平成29・30年度に道内各地で行われた木育活動をまとめた冊子を発行しました。

木育マスターの活動や、

北海道(各森林室)、国、企業、団体、教育関係機関による木育の活動などを掲載しています。

※木育事例集1～8は「北海道の木育」ホームページからご覧いただけます。

ソーシャルメディア「北海道の木育(mokuiku)」

北海道が実施する木育イベント情報・実績、木育マスターの活動紹介など、様々な木育情報を発信しています。



Twitter



Facebook



Instagram



メルマガ「わくわく!木育通信」

平成17年6月から、毎月第3木曜日に発行。「森」や「木」に関するイベント情報などを発信し、令和4年3月現在、3,701名の方々にご購読いただいています。

※バックナンバー・購読は右のQRコードから



ホームページで情報を発信しています

「北海道の木育」のホームページでは、道内で取り組まれている「木育」に関する各種情報を発信しています。